The background of the slide is a light gray gradient with several realistic water droplets of various sizes scattered across it. The droplets have highlights and shadows, giving them a three-dimensional appearance.

# 海津市汚水処理施設整備構想 見直しの概要説明

令和5年3月

# 現在の汚水処理計画

## 単独公共下水道

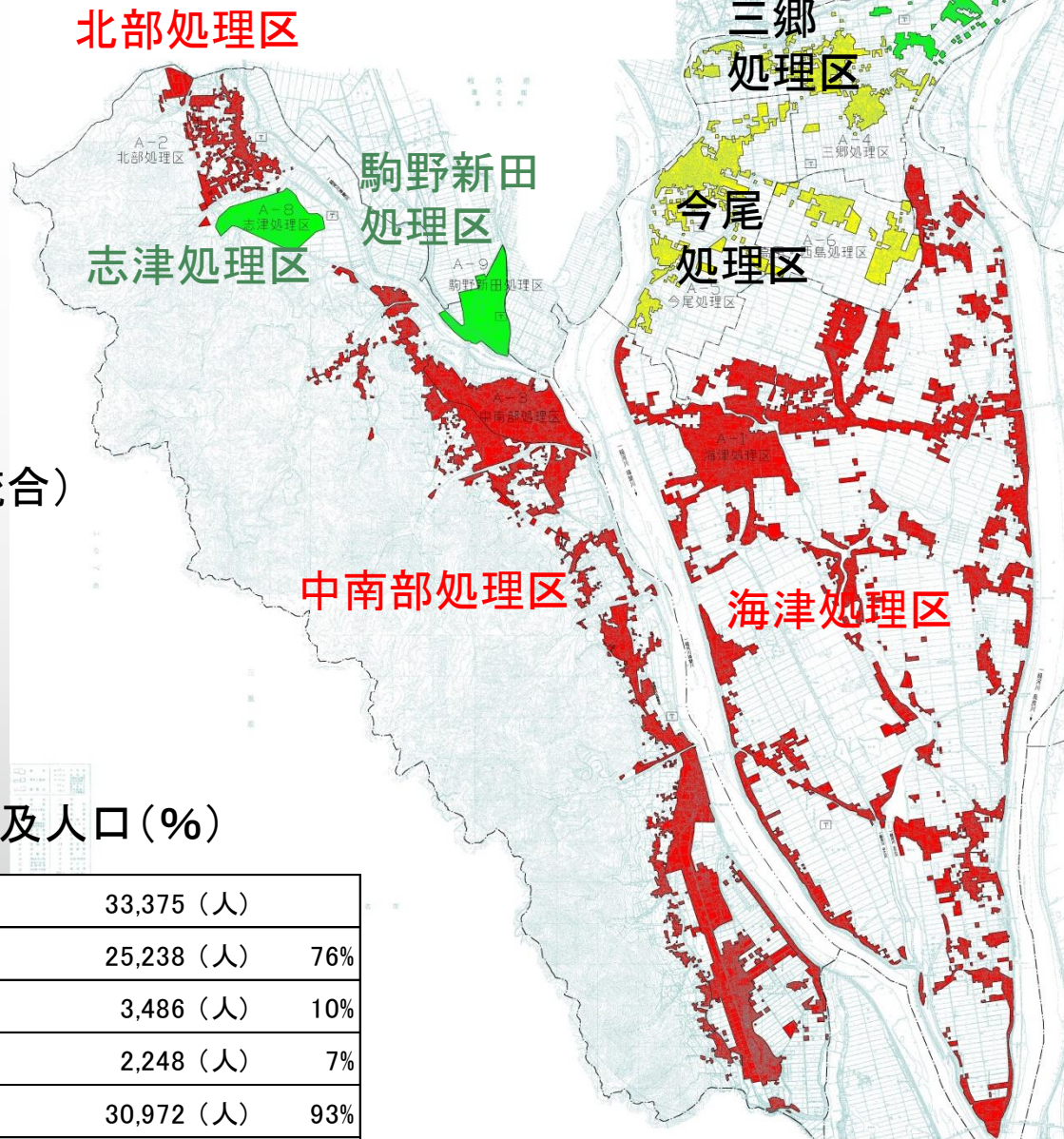
- ・海津処理区
- ・北部処理区
- ・中南部処理区

## 特定環境保全公共下水道

- ・三郷処理区
- ・今尾処理区  
(高田・西島処理区を統合)

## 農業集落排水

- ・志津処理区
- ・駒野新田処理区
- ・野寺処理区



## ○現況(令和2年度末)における普及人口(%)

行政人口(令和2年度末)		33,375 (人)	
普及人口(%)	下水道	25,238 (人)	76%
	農業集落排水施設等	3,486 (人)	10%
	合併浄化槽等+コミプラ	2,248 (人)	7%
	計	30,972 (人)	93%

行政区域	有	<input type="checkbox"/>
処理区域	有	<input type="checkbox"/>

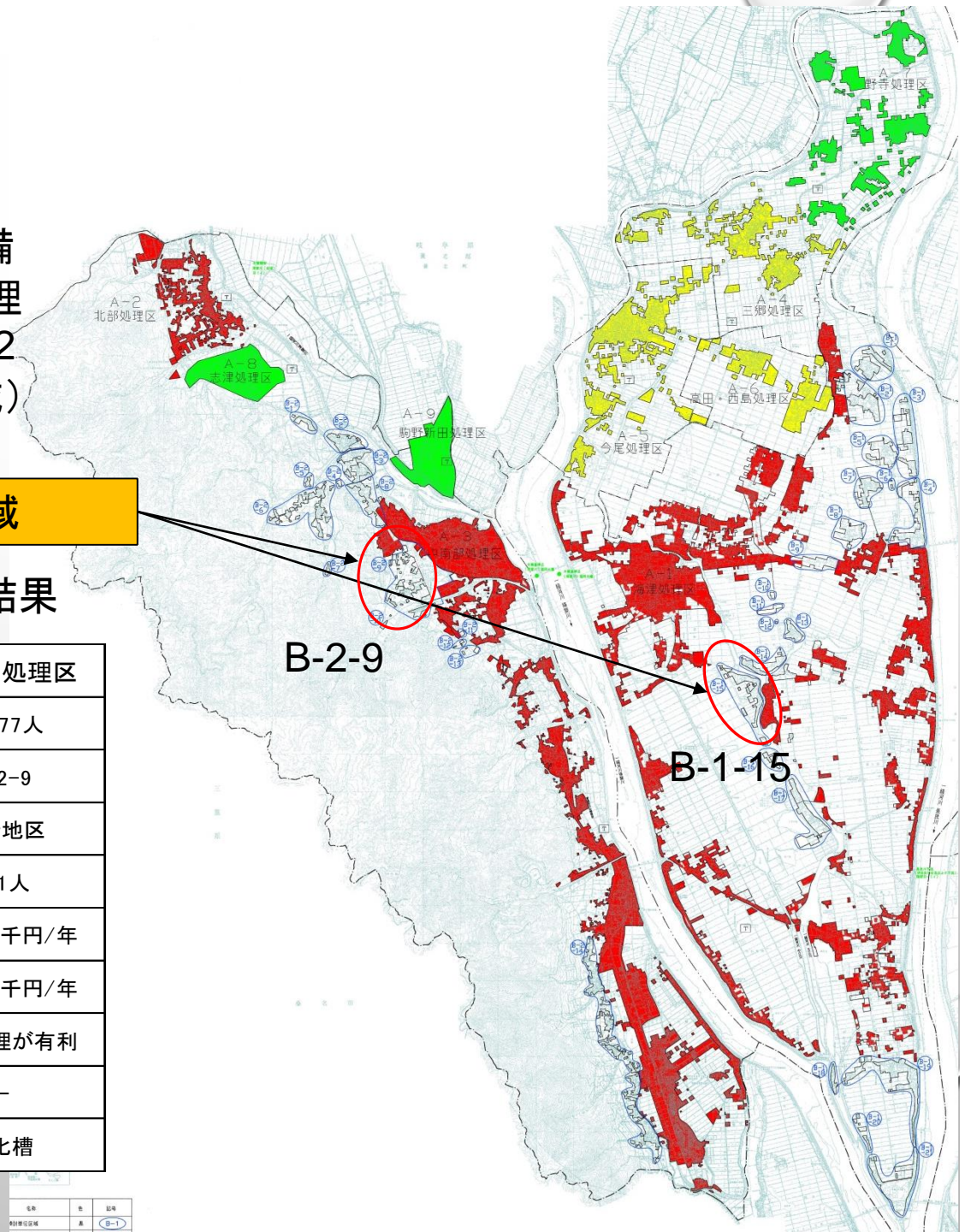
# 整備手法の検討

- ・ 着色部分は整備済み区域
- ・ 黒線で囲んだ無着色部分が未整備区域であり、近年における汚水処理施設の整備状況を踏まえて、再度2か所の検討単位区域(未整備区域)の整備手法を見直した。

検討単位区域

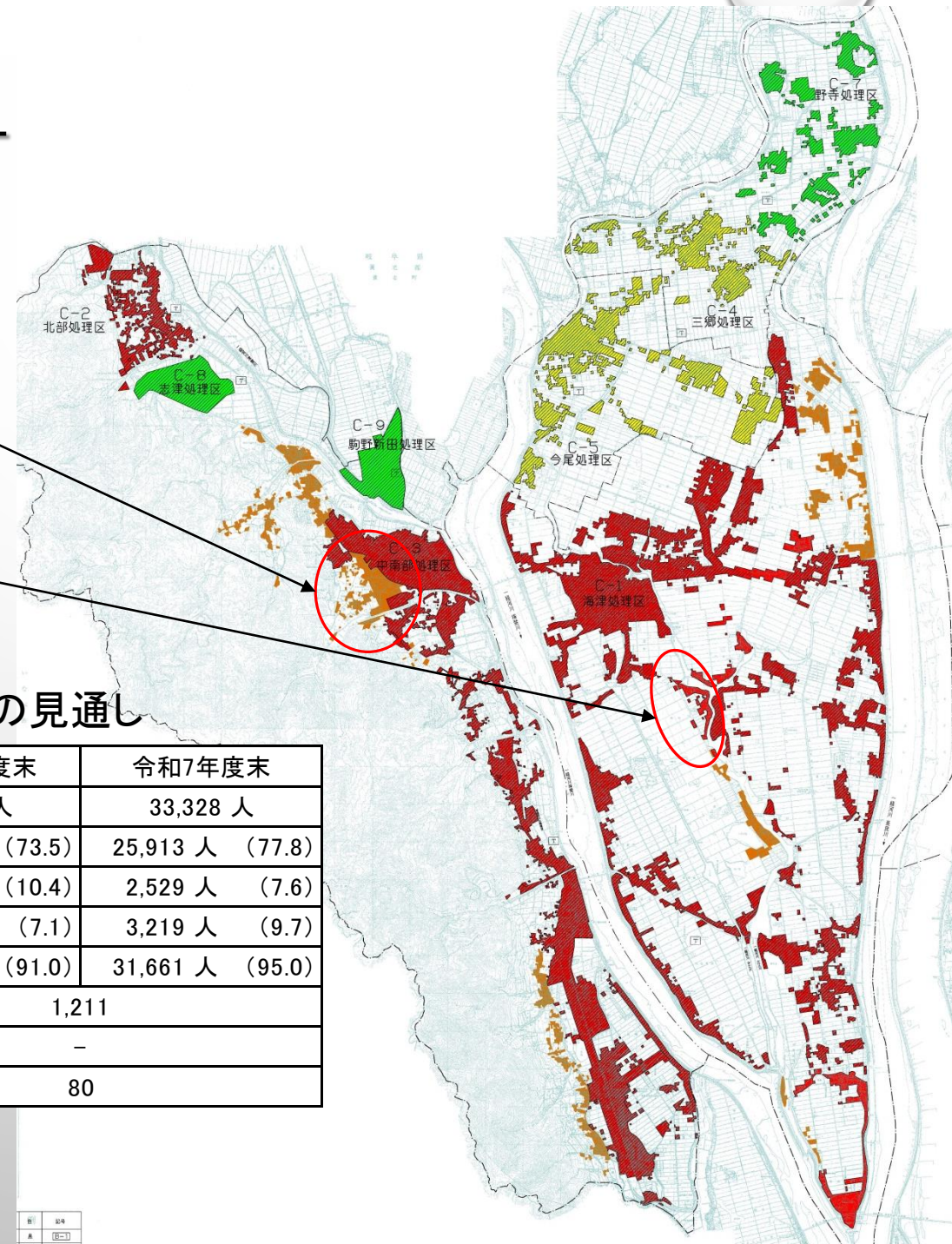
## ○検討単位区域の経済性の検討結果

既整備区域等	海津処理区	中南部処理区
処理人口	10,196人	10,177人
検討単位区域	B-1-15	B-2-9
地区名	五町地区	奥条地区
処理人口	84人	561人
接続した場合	203,258千円/年	218,323千円/年
接続しない場合	203,259千円/年	217,957千円/年
集合・個別の判定	集合処理が有利	個別処理が有利
経営収支結果	+4百万円	—
選定結果	下水道	浄化槽



名称	色	記号
既整備区域	赤	■
検討単位区域	黒線	○

# 検討結果(構想図)



経営収支がマイナスとなった下水道区域を浄化槽へ変更

経営収支がプラスとなった浄化槽区域を下水道区域へ変更

## ○令和7年度末までの普及人口(%)の見通し

		平成26年度末	令和7年度末
行政人口		36,670 人	33,328 人
普及人口(%)	下水道	26,952 人 (73.5)	25,913 人 (77.8)
	農業集落排水施設等	3,818 人 (10.4)	2,529 人 (7.6)
	合併浄化槽等+コミプラ	2,591 人 (7.1)	3,219 人 (9.7)
	計	33,361 人 (91.0)	31,661 人 (95.0)
概算事業費 (百万円)	下水道	1,211	
	農業集落排水施設等	-	
	合併浄化槽等+コミプラ	80	

